

[第1次実践・第2次実践の指導のねらいと具体的な手だて]

		第1次実践 第4学年 「角の大きさ」 (総時数8時間)	
段階	時間	指導のねらい	具体的な手だて
			「よさ」の把握 アンケートによる「よさ」の把握 ○学習全体にかかわる調査、学習活動にかかわる調査 ○算数学習に対する興味・関心の調査
課題設定	1	○既習事項(第3学年の学習)を生かしたり、生活経験を生かしたり児童それぞれの持っている「よさ」を生かし、宝の地図に宝のありかかルートを書し取らせる。	「よさ」を生かす ○課題設定の工夫(宝の地図) ○座席表の活用 ○自力解決の場の設定(ヒントカード、同じ考えでのグループ編成) 「よさ」を意識化させる ○個人カルテ(自己評価、相互評価(お手紙カード)、教師の評価)の活用
	2	○宝の地図に宝のありかかルートを書し取る方法を班ごとに発表させ、いろいろな方法があることを知り、正確に写し取るには、角度についての学習をしていかなければならないことに気付かせる。	「よさ」を生かす ○集団解決の場の設定 ○座席表の活用 「よさ」を意識化させる ○個人カルテ(自己評価、相互評価(お手紙カード)、教師の評価)の活用
	3	○回転角について知り、角の大きさの単位である度(°)を知らせる。	「よさ」を生かす ○学習プリントの活用 ○座席表の活用 「よさ」を意識化させる
	4	○分度器を用いて、角度を測ることができるようにさせる。	○個人カルテ(自己評価、相互評価(お手紙カード)、教師の評価)の活用
	5	○分度器を用いて、必要な角をかくことができるようにさせる。	
課題解決	6	○分度器を用いて、第1時の課題を解くことができるようにさせる。	「よさ」を生かす ○宝の地図 ○座席表の活用 「よさ」を意識化させる ○個人カルテ(自己評価、教師の評価)の活用
	7	○学習内容を生かし、児童の特徴が現れる問題を作らせる。	「よさ」を伸ばす ○既習事項を生かした問題作りと相互交流による問題の解決
発展学習	8	○友達の問題を解き、その問題のよさを味わわせる。	「よさ」を意識化させる ○個人カルテ(自己評価、相互評価(お手紙カード)、教師の評価)の活用

		第2次実践 第4学年 「小数」 (総時数12時間)	
段階	時間	指導のねらい	具体的な手だて
			「よさ」の把握 アンケートによる「よさ」の把握 ○「自分のよさ」の調査による児童の「よさ」のしほり込み
課題設定	1	○小数第2位の数を自分なりの方法で表すことができるようにさせる。	「よさ」を生かす ○導入教材の工夫(魔法の水) ○座席表の活用 ○自力解決の場の設定(ヒントカード、4人の班編成) 「よさ」を意識化させる ○個人カルテ(自己評価、相互評価(お手紙カード)、教師の評価)の活用……※
	2	○小数第2位を表すことができるようにさせる。	「よさ」を生かす ○集団解決の場の設定 ○座席表の活用 「よさ」を意識化させる……※に同じ
課題解決の応用	3	○小数第3位を表すことができるようにさせる。	「よさ」を生かす ○導入教材の工夫(宝島の剣) ○自力解決の場の設定(ヒントカード) ○集団解決の場の設定 ○座席表の活用 ○学習プリントの活用(4人の班で練習問題を解く) 「よさ」を意識化させる……※に同じ
	4	○小数のしくみについて調べさせる。	「よさ」を生かす ○座席表の活用 ○学習プリントの活用(4人の班で問題を解決していく)
	5	○小数のしくみの理解を深めさせる。	「よさ」を意識化させる……※に同じ
興味関心	6	○複名数を小数を使って、単名数で表すことができるようにさせる。	「よさ」を生かす ○導入教材の工夫(宝島の金塊) ○自力解決の場の設定(ヒントカード) ○集団解決の場の設定 ○座席表の活用 ○学習プリントの活用(4人の班で練習問題を解く) 「よさ」を意識化させる……※に同じ
	7	○小数の加法計算ができるようにさせる。	「よさ」を生かす ○自力解決の場の設定(ヒントカード) ○集団解決の場の設定 ○座席表の活用 ○学習プリントの活用(4人の班で練習問題を解く) 「よさ」を意識化させる……※に同じ
学習内容の理解と定着	8	○小数の加減計算ができるようにさせる。	「よさ」を生かす ○学習速度・達成度に応じた学習プリントの活用 ○座席表の活用 「よさ」を意識化させる……※に同じ
	9		
	10		
発展学習	11	○学習内容を生かし、児童の特徴が現れる問題を作らせる。	「よさ」を伸ばす ○既習事項を生かした問題作りと相互交流による問題の解決
	12	○友達の問題を解き、その問題のよさを味わわせる。	「よさ」を意識化させる ○個人カルテ(自己評価、相互評価(お手紙カード)、教師の評価)の活用